たじみの公共施設 4

問 公共施設管理室
林　TEL 22-1376

多治見市は平成28年度に第8次行政改革大綱を策定し、公共施設（市民一人当たりの延床面積）が全国平均より約2割多い現状に対する取り組みを進めています。

その中に、保育園の統合や発達支援センターの統合の計画があります。これは『集約化』という手法で、機能が同じ複数の施設を1つにまとめるものです。集約化により、ロビーやトイレ等の共用部分を合理化し、延床面積（公共施設に係る負担）を削減することができます。また、施設を1つにすることで、同じ定員（サービス量）であっても、運営経費を抑えることができます。

多治見市では、美坂保育園と滝呂保育園を統合した星ケ台保育園を建設し、子どもたちは新しい保育園で安心・安全な環境のもと充実した保育（サービス）を受けることができるようになりました。

人口減少や高齢化などによる厳しい財政状況の中で、今後も必要な機能は効率良く維持していくための検討を進めることが大切です。

▲星ケ台保育園

市の公共施設の現状を把握できる公共施設白書をホームページに掲載しています。

子どもの権利を考えよう

ハッピーな言葉がけ

問 くらし人権課 伊藤　TEL 22-1128

シリーズ Vol.98

普段、私たちが使っている「言葉」。言葉の使い方次第で、受け手は、うれしくなったり、悲しくなったりします。今回は、そんな「言葉がけ」についてお話しします。

特に、子どもは言葉の影響を受けやすく、普段親から子どもへかけられる言葉によって、ハッピー（幸せ）になったり、アンハッピー（不幸せ）になったりします。子育てをしていると、ついつい、時間や気持ちに余裕が無くなり、「早くしなさい」「ちゃんとしなさい」「しっかりしなさい」といった言葉をきつい口調で言ってしまっていませんか。「早く」「ちゃんと」「しっかり」などの言葉はとても曖昧（あいまい）で相手に伝わってないこともあります。

どんな場面でも、言葉次第で、ハッピーな言葉に替えることができます。例えば、ご飯を食べない子どもに「早く食べなさい」と言うと、子どもはアンハッピーになりますが、そこを「おいしくなる魔法がかけてあるから魔法がとけないうちに食べないともったいないよ」と笑顔で言うと、子どもは楽しくなります。

ハッピーな言葉、アンハッピーな言葉のどちらを多くかけられているかによって子どもの成長は変わってきます。プラスの言葉をかけられると、その人に認められたような気持ちになり、自分自身に自信が持て、積極的に行動できるようになります。おとなの皆さんは周りからどちらの言葉をかけてもらいたいですか。子どもにも、おとなにも、皆がハッピーになる言葉がけをしてみませんか。